

長久手市文化の家自主事業報告書

公演名	2014ジョイントフェスティバル愛知 人形劇団むすび座「おまえうまそうだな」
日時 / 場所	平成 26 年 9 月 27 日(土)午後1時開演 舞踊室
事業の種類	普及・啓発事業
席設定	131席
入場者数	131名(完売)
入場率	100%
チケット発売日	一般 6月14日(土) フレンズ会員 6月7日(土)
チケットの種類及び価格	[前売] 一般:1,000円、学生:500円 全席自由 [当日] フレンズ・一般 1,200円、子ども 500円 ※前売り完売のため当日券の販売無し
公演概要	ジョイントフェスティバル愛知は、単独では困難な海外招聘作品や、地域発の芸術団体と芸術活動を維持・発展を理念とし、今年で 2 年目の開催となった。当公演は絵本「おまえうまそうだな」の人形劇版。
鑑賞者評価	とてもいいげきだとおもいました。(9歳男性) 楽しくて笑って、感動して泣いてと、こころの栄養をいただいた劇でした。ありがとうございました！(市内、30代女性) きょうりゅうの表情がすごい。さげんでいるときは怖い顔に見えるし、悲しそうなきときはそのように見える。 1歳半の子どもでも聞けていました。(市内、40代男性) 子どもが携帯のゲームなど身体を動かさずに遊ぶようになったが、こんな素敵な劇を観られたら、少しでも変化が生まれたと思った。(60代女性)
企画委員会コメント	特になし
備考	関連企画として、終演後にワークショップ「恐竜パペットを作ろう！！」を開催した。 会場:舞踊室 参加者数: 23名

長久手市文化の家自主事業報告書

公演名	室内楽の楽しみ
日時 / 場所	平成26年9月28日(日)午後4時開演 / 風のホール
事業の種類	提携事業
出演者	愛知県立芸術大学 学部生・大学院生31名
内容	<p>■メンデルスゾーン／ピアノ三重奏 第1番 ニ短調 作品49 牧野葵(ヴァイオリン、2年)、下村祐輝(チェロ、院2年)、猪子杏奈(ピアノ、3年)</p> <p>■ミヨー／ソナタより 第2, 3楽章 細川杏子(フルート、3年)、酒井季紗(オーボエ、2年)、河野真子(クラリネット、3年)、鶴殿里菜(ピアノ、2年)</p> <p>■シュールホフ／フルート、ヴィオラ、コントラバスの為のコンチェルティーノ 加藤菜月(フルート、4年)、田中文恵(ヴィオラ、院2年)、谷脇友里恵(コントラバス、院2年)</p> <p>■松葉歩美／弦楽四重奏 ザー・ザー・ポタリン夫人の傘 福田奈々子(1st ヴァイオリン、4年)、尾高詩音里(2nd ヴァイオリン)、白井英峻(ヴィオラ、2年)、下村祐輝(チェロ、院2年)、松葉歩美(作曲、院2年)</p> <p>■エヴァルド／金管五重奏 第1番 作品5 星野朱音(1st トランペット、3年)、筒井奏子(2nd トランペット、4年)、村永真緒(ホルン、4年)、竹内演(トロンボーン、3年)、三村大生(チューバ、2年)</p> <p>■ラハナー／五重奏曲 第2番 変ホ長調 第1楽章 近藤星利奈(フルート、3年)、塩田咲(オーボエ、1年)、安田莉子(クラリネット、3年)、浅井春香(ホルン、3年)、三吉彩生(ファゴット、1年)</p> <p>■ブラームス／ピアノ五重奏曲 ヘ短調 作品34より 第1, 3, 4楽章 安田文野(ピアノ、院1年)、尾高詩音里(1st ヴァイオリン、研究生)、五十嵐朝子(2nd ヴァイオリン、院1年)、福田奈々子(ヴィオラ、4年)、石本卓斗(チェロ、院1年)</p>
席設定	180席
入場者数	176人
入場率	97.8%
チケット発売日	一般 6月14日(土) フレンズ会員 6月7日(土)
チケットの種類及び価格	[前売] フレンズ 400円、一般 500円 [当日] 500円
公演概要	愛知県立芸術大学との共催で行う毎年恒例の事業。本年度は、7月に開催された学内オーディションに合格した、大学1年から大学院2年・研究生までの31名(作曲を含む)の学生が出演した。
鑑賞者評価	<p>毎年楽しみにしています。初めての曲や作曲家の作品に出会えます。はっとする音を出す演奏家がいるプログラムを再度みてしまいます。(60歳代・男性)</p> <p>すべて知らない曲で楽しめました。D.ミヨーの作品は近代音楽っていうものなのかもしれませんが、音がきれいに重ならなくて、よく分かりませんでした。(30歳代・女性)</p> <p>学生さんたちが学年をこえてグループを組んで日頃の練習の成果を発表できるのは大変よいと思います。今回は作曲家の大学院生の曲が演奏されましたが本人が会場にいたので直接題名、曲への思いなど(解説にはありましたが)話されると一層親しみが出ると思いますが。(年齢・性別不詳)</p>
企画委員会コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・会場を森のホールから風のホールに代えたことがよかった。 ・大きいホールでガラガラになってしまうよりも、満席に近い方が演奏者にとってもよかったのではないかと思います。来年も風のホールでいい。
備考	プレイベントとして、室内楽の楽しみ出演者による40分程度のコンサート、ガレリアコンサート vol.124「採れたて★室内楽」(9月6日(土)12時開演)をアトリウムで開催した。

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	ながくてアートフェスティバル2014
日 時 / 場 所	平成 26 年 10 月 4 日(土)～19 日(日) 会場により開催日時が異なる。
事 業 の 種 類	自主創造活動事業
会 場	図書館の喫茶店若草、絵のあるティータイム木もれ陽、岩崎建築事務所ダイブボックス、聚福院、稀月、nicorifactory、アトリエフラワーチャイルド、鐵工房たね庵、岩作あんどんの会、音楽工房 CON、アトリエぎやらりー櫛舎、SUBWAY、美容室ハミングバード、名都美術館、cafemealbaroque、画荘ヴィーナス、たいようの杜、生活雑貨 shopR2、恵工房、浅井屋製菓舗、ラック(美◆古布工房)、長鶴池エコハウス、café&garden アルキペラゴ、竹林居、名古屋手描友禅叶工房、りんこうぼう、丸久自転車、タカヨシメキシコ美術館、長久手市中央図書館、長久手市平成こども塾、長久手市福祉の家、市役所市政サロン室、長久手市文化の家
入 場 者 数	15,000 人
公演概要	2007 年に初めて開催されたながくてアートフェスティバル(以下、NAF)は、今回が8回目の開催となった。今回の特徴は、開会イベントの「NAF アトリエマーケット vol.3」や大道芸ショー、ライブペインティングやコラボファッションショーをはじめ、来場者を楽しませるための催事や参加型イベントが充実した。
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が参加できるイベントがもっとあるといいなと思います。(20 代/女性) ・もっと多くの店がこのイベントに参加してほしい。(60 代/女性) ・できればアートフェスティバルを1か月ぐらい続けてほしい。期間があればもっといろいろなところに行きたい。(50 代/女性) ・文化の家廊下で勉強している人にもっとアピールして、せっかくやっているのに、見もせずに机だけ使って帰られるのは惜しい気がする。(30 代/女性) ・スタンプラリーの参加者全員に何らかのものがもらえるとうれしい。(60 代/男性)
企画委員会コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大道芸やライブペインティングもやったのか。すごい。来年は会期が一週間延びるということもあり企画がさらに広がると思う。 ・ これだけ広いと意見を徴収できないのではないか。 ・ 15,000 人のうちの鑑賞者コメントがこれだけしかないが、本当はもっといろんな意見があったのかもしれない。 ・ スタンプラリーの参加者に何かもらえるといいと思う。1 回行くと毎年同じような内容のところがあるから、翌年にも行こうと思わない。何年か前に結構回ったが、もういいかなと思ってしまう。もっと何かあればもう一回行こうかなと思うと思うが。

長久手市文化の家自主事業報告書

公演名	劇団太陽族「それからの遠い国」 同時上演企画「ここからは遠い国」リーディング公演
日時 / 場所	「それからの遠い国」平成 26 年 10 月 18 日(土)午後7時、19 日(日)午後4時 「ここからは遠い国」平成 26 年 10 月 19 日(日)午後1時 / 風のホール
事業の種類	鑑賞事業
席設定	18 日:126 席 19 日:118 席
入場者数	18 日:80 席 19 日:107 席
入場率	18 日:63.5% 19 日:90.7%
チケット発売日	一般 8 月 9 日(土) フレンズ会員 8 月 2 日(土)
チケットの種類及び価格	[前売] フレンズ・一般 2,000 円、学生 1,000 円 [当日] フレンズ・一般 2,500 円、学生 1,500 円
公演概要	同作は 2012 年 6 月にアイホールで初演され、4つの公共劇場が地域創造の助成金を得て再演ツアーが共同企画された。また、今年度の第69回文化庁芸術祭優秀賞(演劇部門)を受賞した。同時上演した関連企画のリーディング公演では、岩崎氏指導のもと、オーディションで選ばれた地元の俳優11人による上演を行った。
鑑賞者評価	暗転にのみこまれそうになりました。あんなにも深く怖くそして美しいクロは初めてでした。(20 代女性) 流されていく人がいて良い。流れに逆らう人もいて良い。迷っている人もいて良い。それでも時間は流れていくんだな。つらいよなあ。(40 代男性) 演劇はあまり観たことはなかったけど、普段から考えていたテーマだったこともあって楽しめて、考えさせられました。とてもよかったです。(50 代女性)
モニター評価	多様性を認め合う社会。国と市民の間の厚い社会。長久手の、いや、日本の行くべき姿が共通の想いにあることを感じました。(一般モニター) 音楽にも好きなジャンルとそうでないジャンルがあるように、演劇にもこのような視点があることに気づいたことは、私にとって大きな成果でした。(運営委員) 本公演について、話題にはなりませんでしたが、しかし、たびたびチラシや担当者による PR を目にし、関心を持ちました。(運営委員) 本公演について、ネットでの評判を見た。(一般モニター) 相続財産分与をテーマの中心に、現実をおびた内容で家族協議が描かれていて、とてもよかったです。(一般モニター)
企画委員会コメント	・ リーディングをやったというのはおもしろい。 ・ 関連企画のワークショップがすごく楽しかった。またぜひやってほしい。岩崎さんの講座の部分もすごくおもしろく分かりやすかった。色々な戯曲講座を受けたことがあるが、すごくよくできたプログラムだと思った。まったく書いたことが無い人が、戯曲って何。というところから始まって、実際に形にするところまで一日でできるいいプログラムだと思う。
備考	関連企画① 「ここからは遠い国」リーディングキャスト募集およびその上演 日時:10 月 19 日(日)午後1時～ 会場:長久手市文化の家 風のホール 関連企画② ワorkshop「本(戯曲)を持って外に出よう」 日時:9 月 14 日(日)午前11時～午後 5 時 会場:長久手市文化の家 企画室A・Bほか

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	千葉雅子×土田英生 舞台製作事業 「姐さん女房の裏切り」
日 時 / 場 所	平成 26 年 10 月 24 日(金)19 時開演 風のホール
事 業 の 種 類	提携事業
出 演 者	千葉雅子(猫のホテル)、土田英生(MONO)
内 容	演劇
席 設 定	188 席
入 場 者 数	134 人
入 場 率	71.28%
チケット発売日	一般 8 月 9 日(土) フレンズ会員 8 月 2 日(土)
チ ケ ッ ト の 種 類 及 び 価 格	[前売] 一般:3,500 円、フレンズ:3,200 円、U-25:2,500 円 [当日] 一般・フレンズ:3,800 円、U-25:2,800 円 全席自由
公演概要	愛知県出身で第 6 回OMS戯曲賞大賞受賞、第 56 回芸術祭賞優秀賞受賞はじめドラマ脚本家としても活躍する京都の劇団MONOの代表土田英生と、「猫のホテル」の代表にして脚本・演出、ドラマ出演、落語会など、多才な千葉雅子による創作二人芝居。
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・強者と弱者の入れ替わりがおもしろいお芝居でした。ラストは少し寂しい。(58 歳/男性) ・緊迫している場面には違いないのだが、全体にユーモアが流れていて、よく笑えた。アフタートークも、劇作家・劇団を持つものとしての三人のトークが興味深かった。よく来てくれました。(52 歳/男性) ・二人芝居、話の設定、舞台の設定……このノスタルジックな、なんともいえない雰囲気、50 代の私には、ほんとに胸がキュンとしてしまいました。この作品、なんで裏社会的なストーリー、かなり好きだと思いました。(52 歳/女性) ・姐さんの気持ちがすごくわかるのは、私が女だからでしょうか。「もう戻れませんね」って言ったとき、なんか、「あー、そうだよなー」って感じました。大声で笑わせていただいた分、最後がすっとしたような、むなしくなってしまったような……。ずどんって心に残りました。軽いはずの発砲音が重くて苦しかったです。照明も音響も装置もかっこよかったです。(19 歳/女性)
モニター評価	<ul style="list-style-type: none"> ・「猫のホテル」「MONO」といえば、知る人ぞ知る中堅劇団であるが、ついぞ見る機会がなかったが今回やっと見れて良かった舞台の作りがおもしろいですね。芝居が短い。 ・MONO、猫のホテルの公演もみたい。 ・さすがというおもしろさでした。土田さんの本も千葉さんの演出も見たことがありましたが、やっぱり土田さんの本は最高でした。役者としての千葉さんをちゃんと拝見したのはたぶん初めてですが、二人芝居で空間が埋まっていて、お客さんも集中が切れないのはすごいです。これほどおおらかに笑える芝居はなかなかこちらで観られないと思っているので、今後も土田さん、そして猫のホテルにも来ていただきたいです。
企画委員会コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ おもしろかったが、短かった。3, 500 円出してあの短さはない。 ・ 少しもの足りない。だからアフタートークがあるのかと思った。
備考	<p>終演後、トークイベントを開催(土田英生、千葉雅子、司会:佃典彦)。 関連企画:9/9(火)、10(水)(二日間の通しプログラム)、風のホール 「私流俳優育成講座“土田英生・20 代の俳優 100 人と出会う”」</p>

長久手市文化の家自主事業報告書

公演名	日本劇作家協会東海支部プロデュース 東海連合台本選考会「劇本」
日時 / 場所	平成 26 年 10 月 25 日(土)A ステージ 15 時開演、B ステージ 19 時開演 26 日(日)C ステージ 11 時開演、決勝および講評会 15 時開演 光のホール
事業の種類	提携事業
出演者	日本劇作家協会東海支部(天野順一朗、鏡味富美子、桐原工務店、台越竜太郎、徳留久佳、中内こもる、ニノキノコスター、長谷川彩、長谷川公次郎、久川徳明、舟橋“委員長”慶子、宮谷達也。司会:刈馬カオス、渡山博崇)
内容	演劇(リーディング)
席設定	90 席
入場者数	A:40 人 B:45 人 C:26 人 決勝および講評会:24 人
入場率	A:44.44% B:50.0% C:28.89% 決勝および講評会:26.67%
チケット発売日	一般 10 月 11 日(土) フレンズ会員 10 月 4 日(土)
チケットの種類及び価格	[前売・当日] 一般・フレンズ:各ステージ 500 円 全席自由
公演概要	本企画は、2月から3月にかけて神奈川で開催される「劇王第2回天下統一大会」に、日本劇作家協会東海支部として参加するための台本選考会という位置づけで開催された。従来の「劇王」シリーズとは異なり、劇作家自らが、自分の書いた台本をリーディングするという形式で作品発表を行った。
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・台本を読んでいるのを聴いて想像して投票するというのは観ているこちら側もなかなか大変でそれがおもしろかったです。(Aブロック 20 代/女性) ・とてもためになる公演でした。どの劇作家さんもすごい。普段劇場でお見かけする祭より、必死で、格好よくもありました。(Bブロック 10 代/男性) ・東京から来てよかったと思う。劇王本戦の行われる神奈川での予選も観たが、なかなか手強そうだった。劇王発祥の東海にはがんばってほしい。(Cブロック不詳) ・舞台ができていない状態なので作品の善し悪しを決めるのは難しいですね。読み手が役者さんか否かというのも大きいかと思いました。あらためて演劇は総合芸術だと思いました。選ばれた作品はぜひしっかり演出をして上演していただきたいと思います。選者としては、作品として立ち上がる以前の可能性を考えて投票しました。作品となったものを再度観たいと思いました。論評は長すぎ。ちゃんと仕切ってやってほしかった。(決勝 50 代/女性) ・決勝の後の講評は、どんでん返し之感がしました。それまで観客が選んでいた作品は一般受けのするものだったことに……容易に情景が浮かぶ(無難なもの)シナリオを選んでいたのかと思います。「勝てるシナリオ」とは、ひとひねりして、他に真似のできない何か?をもっているもの、さらに発展することのできる内容とか、これは、どんなジャンルにも共通するものだと改めて思います。(決勝 60 代/女性)
モニター評価	<ul style="list-style-type: none"> ・おもしろい企画だった。ただ、もし純粹に「本」で闘うのであれば、演出の有無なども揃っていた方が脚本として比べやすいのではと思いました。ただ、複数の本を一度に見られるのはよかったです。演出のレベルが人によって違うのもその人の味かと思うとおもしろいですし。予選と決勝で別脚本を用意するくらいの長期戦のイベントでもおもしろいかもしれませんね。 ・「勝ち」にいける作品を選ぶという試みはいい。客がどうだったかは「？」。
企画委員会コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 劇王を神奈川に持っていく。コンテンツを長久手で作ってそれを他県に持っていくというのは素晴らしい。

長久手市文化の家自主事業報告書

公演名	名演への招待シリーズ14 ゲヴァントハウス弦楽四重奏団
日時 / 場所	キッズプログラム:平成 26 年 11 月 8 日(土)15 時開演 本公演:平成 26 年 11 月 9 日(日)15 時開演
事業の種類	鑑賞事業
出演者	ゲヴァントハウス弦楽四重奏団 フランク=ミヒャエル・エルベン(第 1 ヴァイオリン)、コンラート・ズスケ(第 2 ヴァイオリン)、 オラフ・ハルマン(ヴィオラ)、ユルンヤーク・ティム(チェロ)
内容	■キッズプログラム モーツァルト:アイネ・クライネ・ナハトムジーク K.525 より第1楽章 ドヴォルザーク:弦楽四重奏曲第 12 番へ長調 Op.96「アメリカ」より第1楽章 ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第 9 番ハ長調 Op.59-3 「ラズモフスキー第 3 番」第 4 楽章アレグロ・モルト他 ■本公演 ハイドン:弦楽四重奏曲 ハ長調 作品 76-3 Hob.III-77 「皇帝」 メンデルスゾーン:弦楽四重奏曲 第 6 番 へ短調 Op.80 ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第 9 番 ハ長調 Op.59-3 「ラズモフスキー第 3 番」
席設定	キッズプログラム 404 席 本公演 449 席
入場者数	キッズプログラム 330 人 本公演 348 人
入場率	キッズプログラム 81.68% 本公演 77.50%
チケット発売日	一般 8 月 9 日(土) 9 月 13 日(土) フレンズ会員 8 月 2 日(土)※本公演 9 月 6 日(土)※キッズプログラム
チケットの種類及び価格	■本公演 [前売] 一般 4,000 円 フレンズ会員 3,500 円 学生 2,500 円 [当日] 一般・フレンズ会員 4,500 円 学生 3,000 円 ■キッズプログラム こども(4 歳~中学生)500 円 大人 1,000 円
公演概要	世界最古の弦楽四重奏団として知られている「ゲヴァントハウス弦楽四重奏団」による公演を行った。キッズプログラムでは、曲間に山田純氏(名古屋芸術大学教授)によるお話を入れ、初心者でも理解しやすいようにした。
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・キッズプログラムはできれば午前中にしてほしい。(42 歳・女性 他数件あり)※キッズプログラム ・わかりやすい山田氏の説明で歴史のある楽曲であることがわかった。(64 歳・市内・男性)※キッズプログラム ・初めてこのホールに来ましたが、とても良い環境(座席・音響等)でした。(45 歳・女性) ・こんなに美しくソフトに、でもしっかりとやさしくバイオリンの音に寄り添う、チェロの音、初めて聴きました。(53 歳・女性)
モニター評価	<ul style="list-style-type: none"> ・司会の方が解説され、曲が身近に感じられて良かった。「キッズ向け」というよりは「おとなの素人向け」という感じが強い内容だった。(一般公募モニター)※キッズプログラム ・身近な場所で一流の音楽が聴ける事を本当に幸せに思います。芸術に親しめる環境を大切にしたいです。(一般公募モニター)
企画委員会コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・キッズプログラムはどうだったのか。長久手で良いオーディエンスが育っているということではないか。毎年一本ぐらいこういう公演があるとよい。 ・子どもたちには難しいと思われる曲構成だったがよく聞いていた。あれは子どもたちの記憶に残ると思った。よくこのゲヴァントハウス四重奏団にキッズプログラムをやってもらった。信じられない。曲が全曲ではなくそれぞれのいいところばかりを引っ張ってきた。普通ではありえない。 ・本公演を聴きに行ったが、演奏が本当に良かったし会場も良かった。

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	「0才からの本格クラシック vol.2」～アントンくんのじかんりょう～
日 時 / 場 所	平成 25 年 11 月 14 日(金) ①11:00 開演／②15:00 開演(2 回公演) 多治見市文化会館 大ホール舞台上舞台
事 業 の 種 類	連携・育成事業
出 演 者	平光真彌(ヴァイオリン)、高木俊彰(チェロ)、梶田美香(ピアノ) お話:鈴木亜由子 脚本・演出:山田直子
内 容	チェコの作曲家(ドヴォルザーク)の楽曲を中心とした演奏とお話
席 設 定	200 席
入 場 者 数	①188 人②172 人【2 公演とも前売完売】
入 場 率	①94.0%②86.0%
チケット発売日	平成 26 年 9 月 1 日(月)
チ ケ ッ ト の 種 類 及 び 価 格	[前売・当日共通]小学生以上 500 円 0 歳～未就学児童 200 円
公演概要	中部地方の劇場が制作した企画を相互に連携し上演を行う企画「音楽の壺」を通して、平成 25 年 6 月に長久手市文化の家で制作・公演を行った「こんにちは、アントン」を再構成し、多治見市文化会館で上演。公演内容は長久手市で制作を行い、舞台技術の提供を多治見市が行った。
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・子どももノリノリで体を動かしたり、手をたたいたりしてすごく楽しめていました。ありがとうございました。 ・楽しい演奏会でした。子どもがあきない工夫がたくさんあってよかったです。 ・近くで演奏が見れて、とてもアットホームで良かったです。子供もクラシックの曲にウトウトで気持ちよさそうでした。 ・リラックスできる雰囲気の中で、きれいな音楽を聞けて、親子共々いい時間をもてました。 ・大人も子供もリラックスできました。もう少し知っている曲があると良かったです。 ・子どもを連れてクラシックコンサートに行けません、今回このような企画があり、大変うれしく、母親も楽しめて良かったです。 ・初めてのピアノ、バイオリン、チェロで手拍子して喜んでました。 ・2才の子どもとクラシックを聞く機会はとても貴重でした ・とても良かったです。小さい子供にはもったいない様にも思いましたが、ちゃんと聞いていたので良かったなあって思いました。 ・チェコが興味ある国でもあるので、とても楽しかったです。もう少し静かだといい。 ・本格的な選曲で聴くことができたことがとても良かったです。
企画委員会コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・多治見でやってくれた。売ってもいいぐらいだが。 <p>(→事務局：これは買ってくれている。文化の家の収入にはならないが、出演者にはギャラが支払われていて、その間を文化の家が取り持った。)</p>
備考	平成 27 年度に愛知県豊川市での公演が決定している。

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	長久手フィルハーモニー管弦楽団第 22 回定期演奏会
日 時 / 場 所	平成 26 年 11 月 16 日(日) 14 時 30 分開演 森のホール
事 業 の 種 類	提携事業
出 演 者	長久手フィルハーモニー管弦楽団 指揮:三河正典
内 容	交響曲第 5 番 ニ短調 作品 47(ショスタコーヴィチ) 組曲「火の鳥」1919 版(ストラヴィンスキー) 悲劇的序曲(ブラームス)
席 設 定	723 席
入 場 者 数	604 名
入 場 率	83.54%
チケット発売日	一般 8 月 9 日(土) フレンズ会員 8 月 2 日(土)
チ ケ ッ ト の 種 類 及 び 価 格	[前売] 一般:800 円、フレンズ会員:700 円 [当日] 一般・フレンズ会員:1,000 円
公演概要	地元のアマチュアオーケストラによる定期演奏会。今回も 70 名以上の編成で演奏を披露した。
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・バラエティーのある選曲で楽しめた。(60 代/男性) ・指揮者や演者の息づかいがきこえるようで、生演奏はいいなと思いました。あっという間の 2 時間でした。(30 代/女性) ・地域の管弦楽団は貴重な存在です。頑張っている姿に感心します。(60 代/男性) ・邦人作曲家の曲も取り入れてほしい。(40 代/男性)
モニター評価	提携事業のためモニター無し
企画委員会コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・よくチケットが売れている。曲がよかったのか。
備考	託児室:会議室 2、3

長久手市文化の家自主事業報告書

公演名	ふくしであーと
日時 / 場所	平成 26 年 11 月 17 日(月)午後 1 時
事業の種類	普及・啓発事業
出演者	山田亮(ピアノ/作曲)創造スタッフ
内容	〈演奏曲〉 川の流れるように、知床旅情、エリーゼのために、青い山脈、ほか
対象者	さん(寝たきり。愛知たいようの杜 訪問看護ステーションふれあいが実施するサービスの受益者)
立会い	様(ご主人)、ヘルパー、愛知たいようの杜職員 4 名が立会い
チケット発売日	一般 月日(土) フレンズ会員 月日(土)
チケットの種類及び価格	—
鑑賞者評価	こんな良い顔を見たのは何年振りか。是非またお願いしたい(ご主人)
公演概要	「ふくしであーと」は、デイサービス、自宅等などにアーティストを派遣し、コンサートやワークショップなどを行うことで交流を促し、地域に生きる糧を見出すきっかけづくりに役立つことを目的としている。長寿課と文化の家と地域包括支援センターが連携協力して行う事業。今回は在宅の方 1 名のために演奏した。
企画委員会コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ アマチュアが慈善活動として歌を聞かせたりすることはあるが、プロが演奏して聞かせるというのはなかなかできることではない。 ・ たった一人のために演奏するなんて究極の観客だ。 ・ みるみる反応が変わってきたというのはすごい。
備考	青山宅のピアノが長期間調律されていなかったが、11月3日に下見を行い確認したところ、使用できると判断した。

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	文化の家においてアート・プロジェクト ～保育園児むけ、劇場で芸術を楽しむはじめの一步～
日 時 / 場 所	平成 26 年 11 月 20 日(木) 午前 10 時
事 業 の 種 類	普及・啓発事業
出 演 者	マリンバ&パーカッションアンサンブルグループ BIRTH (中村新、間野英里、田口美郷、村田宏行、大橋由実、大野千尋)
内 容	市内保育園7校の年長児を対象とした BIRTH によるコンサートとバックステージツアー
席 設 定	254 席
入 場 者 数	254 名
入 場 率	100%
チケット発売日	一般 月日(土) フレンズ会員 月日(土)
チケッ トの 種 類 及 び 価 格	チケットなし
公演概要	市内保育園7園の年長児を招待し子どもたちと生演奏の初めての出会いの場として機能する「おいでアート」は今年で5回目を迎えた。劇場で音楽鑑賞時のマナーや参加型の体験を幼少期のうちに理解してもらうことを目的としている。終演後のバックステージツアーを行った。
鑑賞者評価	加配対象児童も身体を揺らしたり、手をたたいたりなど喜んでいた。(上郷保育園) 帰り道もリズム遊びっぽく言葉の掛け合いが楽しめました。この催しに参加できたからこそだと思いました。(長湫南保育園) 近距離で生の音が聴けたので感動した。手拍子や合唱のタイミングがとてもわかりやすく、楽器に親しみながら曲と一体になることができていた。(アインながくて保育園) 子どもに飽きさせないよう工夫されており、とても楽しめた。(色金保育園) バースさんの演奏はとてもすてきでした。(長湫北保育園) 昔話等の演劇鑑賞も企画してほしい。(長湫東保育園、長湫西保育園)
モニター評価	おしゃべり(MC)が園児向けに配慮されていた。大声で歌ったり踊ったりしている姿が心温まるものだった。(社会教育委員)
企画委員会コメント	・大人向けのバックステージツアーはよくあるが、子どもが関心を示すのか。 (→事務局:子どもが関心を示すようにあの手この手で興味を引くようにしている。)
備考	本事業は「であーと」「文化の家においてアート・プロジェクト」「小学校であーと」とともに平成 26 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業(普及啓発事業)として採択された。

長久手市文化の家自主事業報告書

公演名	平成 26 年度長久手市教育文化講演会 倉本聰講演会 「真の文明とは～あなたは文明に麻痺していませんか～」
日時 / 場所	平成 26 年 11 月 20 日(木) 19 時開演 森のホール
事業の種類	鑑賞事業
出演者	倉本聰
席設定	521 席
入場者数	396 名 (うちモニター・招待 188 名)
入場率	76%
チケット発売日	一般 10 月 11 日(土) フレンズ会員 10 月 4 日(土)
チケットの種類及び価格	一般:1,000 円、フレンズ会員:900 円 ※託児あり(ファミリーサポート)
公演概要	教育文化講演会は、平成27年開催の全国都市緑化あいちフェア PR のための応援事業に位置づけており、全国都市緑化あいちフェアに向けて市民の気運を高める目的で開催されました。
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・講演の内容はドラマ「風のガーデン」の心と通じるものがあって面白かった(70 代男性) ・とてもわかりやすく引き込まれる内容でした。ユーモアがあって。(30 代女性) ・可視化することの重要性。(50 代男性) ・市長の話、倉本さんの話、共通するものがあり、文明について考えさせられました(40 代女性)
生涯学習関係者	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の原点を考える機会となりました (小学校 PTA) ・私たち自身の足元を見直し、後戻りを恐れず、目に見えないもの畏れることを感じた (小学校 PTA) ・いろんな視点で物事を考えるということに気付かされました (保育園保護者会) ・便利な生活が人間として本当にいいものなのか考えさせられました (中学校 PTA) ・週末の日中に開催してほしい (多数)
モニター評価	<ul style="list-style-type: none"> ・我に振り返って、ぜいたくな人生を送っている自分に気付かせてもらいました(社会教育委員) ・今一度、何が人の生活を真に豊かにし、後に残せる地球の財産(自然)についても考えなくては、とても危険な社会を作ってしまう恐れがあるのだと思いました(社会教育委員)
企画委員会コメント	特になし
備考	この催事の主催は、生涯学習課が行いました。当日は、文化の家、たつせがある課、産業緑地課、子育て支援課と連携して運営しました。

長久手市文化の家自主事業報告書

公演名	オフィス300公演「天使猫」
日時 / 場所	平成 26 年 11 月 24 日(月・祝) 18 時開演 森のホール
事業の種類	提携事業
出演者	渡辺えり、宇梶剛、大沢健他
席設定	520 席
入場者数	447 席
入場率	86%
チケット発売日	一般 9 月 13 日(土) フレンズ会員 9 月 6 日(土)
チケットの種類及び価格	[前売・当日] フレンズ:3, 500 円、一般:4, 000 円
公演概要	東北出身の渡辺えり氏が震災後初めて書き下ろした当作品は、同じ東北の文人・宮澤賢治の残した言葉をちりばめ、賢治の生涯を描く。
鑑賞者評価	明確なストーリーがなく難しいなあと思いましたが、美しさとエネルギーに圧倒されました。(女性) すばらしい舞台をありがとうございました。キラリキラリと輝く粒の中に、たくさんの想いを感じ、胸がぎゅーとなりました。(女性) つらさの中に美しさ、笑い、救いがありよかった。賢治の世界、人生、東北について、思い出し考えさせられた。(女性) 初めて見ました。宮澤賢治の不思議な世界がこんなふうに演劇になるなんておもしろかったです。舞台美術も演技もすてきでした。(女性) 長久手に来てくれてありがとう。また来てください。(多数) 予想をはるかに超えたすばらしさでした。 しかし、ネット予約してあったのに、。窓口で既に他の人にチケットは渡っておりすったもんだしました。係の対応が悪すぎる。不愉快な思いをしました。(男性)
企画委員会コメント	特になし

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	2014年度愛知県立芸術大学オペラ公演 サンドリヨン(シンデレラ)
日 時 / 場 所	平成 26 年 12 月 6 日(土)14 時開演、12 月 7 日(日)14 時開演／森のホール
事 業 の 種 類	提携事業
出 演 者	●キャスト 【12/6(土)】サンドリヨン(1・2幕)／田浦彩夏、サンドリヨン(3／4幕)岡谷 瞳、継母／船越亜弥、シャルマン王子(1・2幕)齊藤日向、シャルマン王子(3・4幕)／山際きみ佳、妖精の女王／南 美里、ノミエ／森下 泉、ドロテー／城 愛美、パンドルフ／堀内紀長、王様／上田 賢 【12/7(日)】サンドリヨン(1・2幕)／今尾奈々、サンドリヨン(3・4幕)寒川さがみ、継母／石戸谷 英美子、シャルマン王子(1／2幕)／堀内大輝、シャルマン王子(3・4幕)水野 優、妖精の女王／新宮雅美、ノミエ／井口侑奏、ドロテー／宇佐見朋子、パンドルフ／上田 賢、王様／堀内紀長 ●管弦楽 愛知県立芸術大学管弦楽団(コンサートミストレス:尾高詩音里) ●合唱 愛知県立芸術大学合唱団 ●指揮 矢澤定明 ●演出 飯塚励生
内 容	オペラ
席 設 定	497 席
入 場 者 数	12/6:367 名、12/7:421 名
入 場 率	12/6:73.8%、 12/7:84.7%
チケット発売日	一般 10 月 11 日(土) フレンズ会員 10 月 4 日(土)
チ ケ ッ ト の 種 類 及 び 価 格	[前売・当日] A席:2, 500 円、B席:1, 500 円
公演概要	毎年恒例の愛知県立]芸大によるオペラ公演。今回の演目 J.マスネ作曲「サンドリヨン」は、フランスの作家シャルル・ペローのおとぎ話を原作とし、シンデレラの名で絵本や映画を通じて広く知られる物語である。
鑑賞者評価	大変感動しました。オペラはわかりにくいものと思っていましたが、知っている話だし、わかりやすかった。ユーモラスな面、おかしさもあり、楽しめた。(70 代女性) 皆様の声、演技、オケ、全てすばらしかったです。ブラボー！(40 代女性) 舞台から伝わる臨場感はすばらしかった。(60 代男性) みずみずしく好感が持てました。演出も斬新！ピットの中の演奏の方々にも拍手を送りたい。(60 代女性) 舞台のセットが素晴らしかったです。限られた空間で、びっくりするほど奥行きが感じられました。(20 代女性) 初めてオペラを観ました。学生ならではのユーモアがあって、オペラに親しみがもて、ハードルが下がった。ぜひ再演をしてください。珍しい演目を一年だけというのはもったいないと思います。(70 代女性)
企画委員会コメント	・ いつもは100%完売となるが、インパクトがなくなってきたのか完売にはならなかった。

長久手市文化の家自主事業報告書

公演名	第11回長久手市文化の家バンドフェスティバル
日時 / 場所	平成26年12月14日(日)13時30分開演 風のホール
事業の種類	自主創造活動事業
出演者	DROP'S 始め9バンド(38名)
内容	1.DROP'S 2.Soleil 3.Cash Backs 4.7'S(セブンス) 5.Tooth Picks 6.DSAS 7.AFROS 8.クラブ☆ブロンソン 9.VAXIM 10.合同セッション
席設定	256席
入場者数	179人(延べ)
入場率	69.92%
チケットの種類及び価格	無料 全席自由
公演概要	文化の家で活動する団体が一堂に会し、活動の成果発表と利用者間の交流をすることを目的としたフェスティバル。隔年開催になってから初のバンドフェスティバルには10バンドから応募があり(後に1バンドは出場辞退)、出演の9バンド中4バンドが初参加となった。
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回開催してほしい。(市内/47歳/男性) ・皆さんの楽しさが伝わってきてとても良かったです。(市外/59歳/女性) ・さまざまな世代の人がバンドとして活動していて、その成果を見ることができて楽しかったです。(不明/15歳/女性) ・もっと早い時刻に行ってほしい。夕方には終了が良い。(市外/66歳/男性) ・楽しかった。もう少し若い人のバンドも見たい。(市外/16歳/女性)
モニター評価	なし
企画委員会コメント	特に無し
備考	ヤマハサウンドシステム株式会社よりデジタル音響卓、スピーカーシステム等をデモ機として借用した。

長久手市文化の家自主事業報告書

公演名	フレンズのつどい Part. 32 クリスマスコンサート&ティーパーティー 「ピッコロオルケスタが贈る音楽のプレゼント」
日時 / 場所	平成 26 年 12 月 14 日(日)14時開演 舞踊室
事業の種類	住民参画事業
出演者	ピッコロオルケスタ(フルート・ヴァイオリン・チェロ・ピアノ) ゲスト:金原聡子(ソプラノ)
内容	コンサート(アイネクライネナハトムジーク、アヴェ・マリア他)及びティーパーティー
席設定	163 席
入場者数	153 人(完売)
入場率	93.8%
チケット発売日	一般 10 月 11 日(土) フレンズ会員 10 月 4 日(土)
チケットの種類及び価格	[前売・当日] 一般:1,500 円 フレンズ会員:1,200 円 全席自由
公演概要	フレンズのつどいは、文化の家フレンズが企画から運営までほぼすべてを行う住民参画事業である。本年度の冬のつどいは、4種類の楽器で編成される小さなオーケストラ『ピッコロオルケスタ』と、ゲストのソプラノ歌手金原聡子さんを招いて、生音でのコンサートを開催した。
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・知り合いに誘われてはじめて来てみたけれど、素敵ですね。フレンズの活動を何も知らなかったけれど、会員にならないと楽しめないんでしょうね。(60 代女性) ・毎年楽しみに参加しています。こんなに身近で演奏を一人占めしているような感覚がとても好きです(60 代女性) ・ソプラノの金原さんの登場方法にはびっくりしました。CDを聴いているかと錯覚するくらい、近くですばらしい歌声が聴けて感動しました。(70 代男性) ・毎回楽しみにしています。いつも素敵なプログラムやセッティングをありがとう！(50 代女性)
モニター評価	なし
企画委員会コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ すごく好評で、演奏者の人たちも演奏を終わった後のティーパーティーでお客さんと直に話ができるというのはとてもうれしかったと言っていた。

長久手市文化の家自主事業報告書

公演名	室内で聴こう！シリーズ 2014【JAZZ 編】 JAZZ IN THE ROOM
日時 / 場所	平成 26 年 6 月 21 日(土)～平成 26 年 12 月 17 日(水) 光のホール・風のホール・音楽室
事業の種類	普及啓発事業
出演者容	6/21(土)14:00 光のホール プレイベント レクチャー「さあ、ジャズを聴こう！」 講師：山東正彦(岡崎市内田修ジャズコレクションディレクター) ① 7/2(水) 19:00 音楽室 「気軽に JAZZ!～地元発!ジャズの新しいムーヴメント!」 出演 Double Check / 浅井翔太(ドラム)、加納奈実(サクソ)、成瀬明(ギター)、藤井浩樹(ピアノ)、荒川悟志(ベース) ② 8/20(水) 17:00 風のホール 「親子でスウィング!～JAZZ が生まれた街!ニューオリンズジャズで楽しく!」 出演 中村好江(トランペット)わくわく HOT7 ③ 10/29(水) 19:00 風のホール 「秋の夜長 JAZZ!～情熱のヴォーカル」 出演 ケン・バルディス(ヴォーカル)、ダニー・シュエッケンディック(ピアノ)、北浦寛(ベース)、ルベン・フィゲロア(ドラム) ④ 12/17(水) 19:00 音楽室 「クリスマス JAZZ!～よいお年を!」 出演 森久子(ヴォーカル) 後藤浩二(ピアノ) 加藤雅史(ベース)
席設定	プレイベント 100 席、①70 席、②200 席、③200 席、④70 席
入場者数	プレイベント 40 人、①61 人(完売)、②168 人、③169 人、④58 人(完売)
入場率	プレイベント 40%、①87.14%、②84%、③84.5%、④82.85%
チケット発売日	一般 5 月 10 日(土) フレンズ会員 5 月 3 日(土)
チケットの種類及び価格	[前売・当日] 各回 1,000 円 ※vol.2「親子でスウィング!」のみ 4 歳から中学生は 500 円 全席自由
公演概要 ライブハウスのような空間で気軽に楽しむ、をコンセプトに 4 公演を展開。	
鑑賞者評価 ・JAZZ に限らず、こういう形態で地元長久手の演奏者のプチコンサートがどんどん開かれるといいなと思います。(50 代 / 女性) ・出演者と観客が一体になれるいいホールです。こんなに間近で感動できる会場は他にありません。(69 歳・女性) ・とても気持ちよかったです。特にヴォーカル JAZZ はまさに LIVE ハウスみたいでたのしい。(41 歳・市内・女性)	
モニター評価 ・地元発、いいですね。気軽に地元の若者のジャズがきける、ジャズに興味はありませんでしたが、昨年から聞いているとなんか心が落ち着いて仕事の疲れが飛んでいくような気がしています。(一般公募モニター) ・JAZZ はもっとリラックスして聴くものなので、この座席の並べ方は再考してほしいです。(一般公募モニター) ・舞台とお客さんが一緒に楽しみとても良いコンサートでした。口々にみなさんがとてもよかったですと話していました。(社会教育委員) ・会場が小さく、かなりミュージシャンに近いところで聴けてよかったですと思います。(一般公募モニター)	
企画委員会コメント ・まちなかにある PUB みたいなどころでできると生きる企画では。(→事務局：実際に探しているが、市内に PUB のようなところが見つからない。近くのカフェに打診をしているところ。) まちなかにある空き家をロフトにして再活用する手もあるのでは。 ・行政が酒を出す問題になることがあるから、酒を出せる店を文化の家に呼んできて酒を出して JAZZ を聞かせるとよいのでは。わざわざライブハウスとかでやると文化の家の企画ではないように思われてしまう。 ・週一回ぐらい色々なカフェみたいなどころで転々とやっていければ、お客さんとしてもそのお店に行くいいきっかけになる。JAZZ といってもジャンルがたくさんあるからそれを明確に打ち出していいのでは。	
備考 本事業は「であーと」「文化の家においてアート・プロジェクト」「小学校であーと」とともに平成 26 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業(普及啓発事業)として採択された。	

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	谷本賢一郎クリスマスファミリーコンサート
日 時 / 場 所	平成 26 年 12 月 20 日(土) 11 時開演 森のホール
事 業 の 種 類	鑑賞事業
出 演 者	谷本賢一郎(うた、ギター)、フーミン(ピアノ)
内 容	NHK E テレ「フックブックロー」テーマ曲、クリスマスソング、長久手応援ソング、他
席 設 定	649 席
入 場 者 数	619 名(完売)
入 場 率	95.38%
チケット発売日	一般 10 月 11 日(土) フレンズ会員 10 月 4 日(土)
チ ケ ッ ト の 種 類 及 び 価 格	[前売] 一般:1,000 円、フレンズ会員:800 円、小学生以下:500 円 [当日] 一般・フレンズ会員:1,300 円、小学生以下 800 円 2 才以下膝上鑑賞無料
公演概要	同日開催事業「クーテフェス&長久手冬のパン・スイーツ祭り」に一人でも多くの来場者を得るために企画した事業。NHK E テレ「フックブックロー」に“けっさくくん”としてレギュラー出演中の谷本賢一郎による弾き語りコンサート。
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・とても楽しかったし、いろんな音があがって来てとてもよかったです(8歳/女性) ・つい生歌を聴けるチャンスがあると足を運んでしまいます。今日はフーミンさんの歌をピアノで聴けてすごく得した気分です。とてもよかったです。(41歳/女性) ・小さな子どもを連れての方ばかりなので指定席だと嬉しいです。(でもきっと何か事情があるのかな)(40歳/女性) ・家族みんなで楽しむことができました。娘も手をたたいて喜んでいて楽しんでくれたとおもいます。(35歳/男性)
モニター評価	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども(2歳)が楽しんでくれた。知ってる曲が多く口づさめた。長久手バージョンのアナ雪は映像もあり分かりやすくうれしかった。(教育委員)
企画委員会コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・友人のお母さんもチラシを見つけてけっさくくんが来るなら来ようとチケットを買っていた。ある特定の年齢層にはすごく知られている人だと思う。(フレンズについて) 有料の会員だと小さな子のお母さんは、自分がどれだけ来られるか分からない。子どもの体調により来られなくなる場合もあるから。だからフレンズに子育て世代が少ないのは当たり前だと思う。 ・ こういう子育て世代に公演を見に来てもらって、子どもが大きくなったらフレンズの会員になってもらえればいい。
備考	チケット購入者には、「長久手冬のパン・スイーツ祭り」において、パン、スイーツ 50 円割引特典有り

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	長久手応援ソング普及企画 クーテフェス&長久手冬のパン・スイーツ祭り
日 時 / 場 所	平成 26 年 12 月 20 日(土) 13 時開演 ガレリア、展示室、食文化室
事 業 の 種 類	普及・啓発事業
出 演 者	藤田善宏(審査員長)、谷本賢一郎(副審査委員長)、峯いずみ(審査委員)、BOYS AND MEN(田村侑久、辻本達規)(ゲスト MC)、相川真一(司会)、コンペ出演者(長久手応援ソング合唱隊、ベアー クーテシガーナ、渡辺和代、イロガネレンジャー、市役所 bears、Me Too!、NEXPO とゆかいな仲間たち)、伊東江利子(ぬいぐるみ出展、ワークショップ講師)、宮田有紀(パン講座講師)
内 容	パフォーマンスコンペ、パン販売(参加店)、ぬいぐるみ展示、ぬいぐるみ作りワークショップ、長久手応援ソング資料展示、パン作り講座
席 設 定	-席
入 場 者 数	1,500 名(延べ)
入 場 率	-%
チ ケ ッ ト の 種 類 及 び 価 格	入場無料
公演概要	長久手応援ソングを普及するため、市民(特に若年、子育て世代)の来場促進をターゲットに、「子どもに人気(=谷本賢一郎)」、「パン」、「イケメン(=BOYSANDMEN)」という特典を付すことにより集客を計った。
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・想定よりお客さんが多くて混乱している感触がありました。誘導がうまくいっていなかった印象です。改善の上また開催してください。(匿名) ・楽しいイベントを企画してくださってありがとうございます。次回も楽しみにしています。クーテはやっぱり長久手のアイドルです。(女性)
企画委員会コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応援ソングを普及することでまちの一体感とかコミュニティづくりを狙っているのか。 (→事務局：お祭りでも体操替わりでもいいがいろいろなところで活用してほしいと思っている。ただこういうものを普及しようと思っても押し付けになってはいけないから難しい。) ・ 谷本賢一郎のコンサートが終わるとパンが売っていて、パンを買ったあとはパフォーマンスコンペが始まるという流れになっていた。
備考	<p>【パン・スイーツ祭り出店】 BENKEI、アンジュール、アヴァンセ、nicori factory、あぐりん村パン工房、モンタボー、パティスリーハイ、KOJIMA洋菓子店、ピエールプレシュウズ、スイーツ イソオ、天然酵母パン モネラ、かわせみ工房、茶和話</p> <p>【ぬいぐるみ】クーテシガーナ約 80 体展示。ワークショップ参加者約 50 名(完売)。</p>

長久手市文化の家自主事業報告書

公演名	長久手市文化の家アートスクール短期講座 ながくて演劇クラブ2014公演「花の命はながくて」
日時 / 場所	平成26年12月21日(日)①午後3時開演 ②午後6時開演 / 舞踊室
事業の種類	育成事業
出演者	森菜摘、服部結名、古部未悠、森美佳子、鈴木牧穂、市岡貴子、井上真知子、植村真、長谷部あゆ子
席設定	50席
入場者数	①60名 ②33名
入場率	①120% ②66%
チケットの種類及び価格	入場無料、全席自由
公演概要	文化の家アートスクールの短期講座として開講した、ながくて演劇クラブの発表会。今回、初の試みである。講師の要望により、受講生を高校生から39歳までとして募集。受講生9名のうち、3名が高校生であり、過半数を20代以下が占めた。全15回の講座+発表会で、あて書きでの書き下ろし。
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・いい作品でした。テンポがよかったです。(40代/男性) ・高校生のセリフが重なるところがとくによかったです。(50代/女性) ・感情移入しすぎて、はずかしいくらい泣きすぎました。(40代/女性) ・若手に絞ったワークショップというのは新鮮で、内容もおもしろかったです。今後もつづいていくといいですね。(20代/女性) ・重たい話ですが、おもしろいストーリーでした。短編だったのが逆によかったと思います。無料のワークショップの発表会、正直どうかと思いましたが、期待以上でした。(40代/男性)
企画委員会コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・目的としては、演劇をアマチュアとしてやる人を増やすためにやっているのか。(→事務局：特に若い人を増やしたいと思っている。) ・年寄りを排除することになっていないか。当初の目的のコンセプトとずれてはいないか。どういう意図で行ったかが不明瞭である。

長久手市文化の家自主事業報告書

公演名	創造スタッフプロデュース 「クリスマスアドベンチャーZ」～コンサートをとりもどせ！～
日時 / 場所	平成26年12月25日(木) ①11時開演 ②14時開演 森のホール
事業の種類	自主創造活動事業
出演者	創造スタッフ 山田亮(ピアノ)、高木俊彰(チェロ)、田口美郷(パーカッション)、鈴木和佳枝(舞踊)、橋寛憲(美術)、小林大地(美術)
席設定	①200席 ②200席
入場者数	①137人 ②161人
入場率	①68.5% ②80.5% 平均74.5%(整理券は400席分すべて配布)
整理券配布日	11月8日(土)
参加者評価	<p>参加者評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども目線で作られていてとても楽しかったです。クリスマス気分も味わうことができよかったです。(32歳/女性) ・舞台セットがちゃんと音楽に合わせて動いていたのがステキでした。(31歳/女性) ・いろいろ知っている歌があってよかったです。おどったりして楽しかった。(8歳/女性) ・子どもにとって1時間のコンサートは長いはずなのに、5歳の息子が終わったとたん「はやっ！」と言うぐらい飽きさせないコンサートでした。いつも思いますが子ども相手でもクオリティの高さにビックリします。本物の力はすごいですね。また来年も来たいです。(43歳/女性)
公演概要	創造スタッフによるクリスマスコンサート。今回は美術系スタッフの力を活かし、単なるコンサートではなく、参加者が楽しめる参加型の公演を企画した。
モニター評価	<p>モニター評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもも大人も楽しめるよう工夫が感じられた。(一般モニター)
企画委員会コメント	<p>企画委員会コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 整理券を全て配っても来ない人がいたということか。有料にしたならそういったことが減るのでは。 ・ 自主事業をただにすることがどうなのかなと思う。行政のサービスといった点から見れば無料が望ましいが、無料だからいいということではないので、500円とか1,000円とかを取った方がいいのでは。 ・ お金を払う価値のあるものには払うという習慣は必要。行政がやることでお得ということは必要だと思うが。無料だとおもしろくなくてもおもしろかったというため、本当の評価が見えなくなる。